



琵琶湖・淀川流域シンポジウムの開催について

令和6年1月25日
本部事務局

1 目 的

琵琶湖・淀川流域は、わが国を代表する大流域であり、関西の社会・経済・文化の基盤として、人々の暮らしや産業を支えている。

関西広域連合においては平成25年の大規模自然災害の発生を契機として、平成26年に「琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会」を設置し、流域が抱える様々な課題等を整理等するとともに、流域全体での取組等について鋭意、検討してきた。

本シンポジウムでは、琵琶湖・淀川流域における気候変動等に伴う水不足のリスクや、海の生態系等に影響を及ぼすプラスチックごみ問題に関する様々な課題を提示するとともに、流域に関わるあらゆる主体が、水のつながりを認識し、いのちの源である水を守るために連携・協働する機運を醸成する。

2 対 象 一般住民、自治体関係者 等

3 定 員 会場：300名程度（先着順） ※YouTube 同時配信

4 日 時 令和6年3月14日（木） 14：00～17：15（開場 13：00）

5 会 場 グランフロント大阪「ナレッジシアター」
（大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪北館4階）

6 テーマ 「水を意識し、つながりを感じる ～健全な水循環の継承に向けて～」

7 プログラム

主催者挨拶	関西広域連合 三日月 大造 広域連合長	
特別講演 (30 分)	「拝啓 浦島太郎さん」～琵琶湖・淀川流域 ver. ～ 三遊亭 わん丈 氏（江戸落語家）	
基調講演 (30 分)	水循環の仕組みと気候変動等に伴う水不足リスク 田中 賢治 氏（京都大学防災研究所 教授）	
パネルディスカッション		
話題提供① (15 分)	淀川左岸地域を中心とした流域連携活動の取り組み 石田 裕子 氏（摂南大学 理工学部 教授）	
話題提供② (15 分)	プラスチック汚染に立ち向かう～脱プラスチック、そしてサーキュラーエコノミーへ～ 原田 禎夫 氏（同志社大学 経済学部 准教授）	
会場参加型 ディスカッション (80 分)	テーマ	「貴重な水を将来に引き継ぐために」
	活動紹介	同志社大学学生、大阪商業大学学生、祇園祭ごみゼロ大作戦学生ボランティアより、各地でのごみを発生させない活動を紹介
	パネリスト	登壇者及び学生
	モデレーター	多々納 裕一 氏 （琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会座長、京都大学防災研究所 教授）

8 申込方法

下記申込フォームから申込

○申込フォーム <https://forms.gle/EedQF6aBqwq7JH8x9>

○申込締切り 令和6年3月8日（金）

※先着順のため定員に達し次第、受付終了



9 主 催 関西広域連合

10 後 援（予定）

国土交通省近畿地方整備局、独立行政法人水資源機構関西・吉野川支社、
公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構、水都大阪コンソーシアム、MLGs 推進委員会、
京都超 SDGs コンソーシアム、公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所

11 お問い合わせ先

関西広域連合本部事務局 地方分権課

TEL：06-4803-5674

E-mail：biwako-yodogawa@kouiki-kansai.jp